



中秋の名月の10月5日、とても綺麗な月が出ていましたね。  
十五夜の頃に収穫される「芋」をお供えすることから「芋名月」とも呼ばれているようです。  
現在は、満月のように丸い月見団子と魔除けの力があるとされたススキを伴えるのが一般的な  
「十五夜スタイル」ですね。

皆さんのお宅でも、お供えをして、綺麗な月を眺めたのではないのでしょうか？

九十九荘では、十五夜にちなんだ紙芝居を読みました。

また、季節の歌をうたったり、体操で体を動かしたりと内容は盛りだくさん!!!

でも、やっぱり一番の楽しみは、おやつのおまんじゅう。

職員が少しでも月見団子に近いおまんじゅうをと、黄色いかぼちゃあんと白いこしあんの  
1口まんじゅうを用意してくれました。

小さなおまんじゅうだったので「もっと食べたい」「足りないよお」とちょっと不満気な入居者様。

「やっぱりおまんじゅうは大きくないとダメかあ...」そんな声が職員から聞こえてきました。

笑顔の絶えなかった紙芝居の日。入居者様と楽しいひと時を過ごすことができました。